

TICA Board of Directors Annual Meeting

August 27 – 30, 2024 Hampton, Virginia

● Bylaw 118.2 (Breed Section Polls) の改正 - Board の指示 根拠 :

2024 年 Spring 2024 Meeting 議事録において、理事会は事務局に対し、「猫種部門の投票は、Registration Rules ではなく TICA By-Laws に定められた投票手続きに従う必要がある」と指示した。これは投票者の資格について言及している。将来的に曖昧さが生じないように、関連する By-Laws を改正する。

Amend Bylaw 118.2: 18.2 既存のスタンダードの修正 公認猫種に対する色彩の追加もしくは削除、または新スタンダードの採択を含むがこれに限定されない基準改正案は、その変更が検討される Board Meeting の 120 日前に、Breed Committee 委員長が Genetics, Rules Committees および Rules Committees に提出するものとする。Genetics and Rules Committees は、提案を受け取ってから 15 日以内に決定を下すものとする。Genetics and Rules Committees の承認後、事務局は、変更が検討される Board Meeting の 100 日前までに、Breed/Breed Group Section の投票資格を有する全会員に投票用紙を発行するものとする。投票資格のある会員は、By-Laws 113.1 の要件を満たし、さらに、投票用紙が発行される月の初日から遡って 6 ヶ月間、Breed/Breed Group Section の会員でなければならない。投票の集計は、Board により任命された役員、または電子投票を行う業者によって行われる。当該世論調査の金銭的責任は、依頼者側にあるものとする

Amend By-laws 118.2 Breed Section Polls – Motion carried (approved)

● By-laws 119.7 (「性別」の使用) の追加

理由 :猫を含め、人間とは異なる動物には「性別」という概念は存在しない。現在では TICA スタンダードにも「性別」という言葉が見られるようになった。このままでは、TICA スタンダードに「ジェンダー」という言葉が広く使われるようになることが懸念されます。猫に関しては「性別」という言葉を使わないルールが必要だと思います。

Add By-laws 119.7 Use of “Gender” – no action

● Bylaw 121.4 (会員情報) を追加する 理由

121.4 TICA チャータードクラブは、クラブ会員の個人情報を管理する責任を負い、個人情報の漏洩や不正利用を防止するために十分な注意を払わなければならない。

Add By-laws 121.4 Members' Information – no action

● Bylaws 122.2.1 および 122.2.2 (苦情) の改正

Board は、2021 年年次総会において、Board の決定が提訴者に有利なものであった場合、提訴手数料を返金すべきであることに同意した (Bylaws1022.2.1.6)

(a) Bylaws を以下の通り変更する. Standing Rule

(b) Feline Welfare Committee の苦情に関する言及を一般的な苦情に関する言及に移動する。
苦情セクション (122.2.1)

Bylaw 122.2.1 および 122.2.2 を改正する

122.2.1 苦情. 苦情を申し立てる当事者は、Bylaws の Standing Rules に定められた公式書式で苦情を提出しなければならない。提訴者は、提訴者が違反したと主張する具体的な By-Law, Show Rule, Registration Rule またはその他の規則を記載し、提訴を裏付けると主張するすべての文書およびその他の証拠を添付しなければならない。いかなる苦情も、申し立てられた事件が発生してから 180 日以内に事務局に提出されなければならない。Standing Rules に定める返金不可の提出手数料を添付しなければならない。提出手数料は、Feline Welfare Standing)Committee が abuse protocols. (虐待プロトコル) において提出した抗議には適用されない

122.2.2 ショーに対する抗議/苦情: ショーに関連して生じた不正行為又は本協会の規則違反を問う苦情/異議申立ては、ショー終了後 10 営業日以内に、証拠書類及び Standing Rules 常任規則に定める申立手数料を添えて書面で提出しなければならない。苦情のコピーは、show committee にも送付されるものとする。Board は、本条に従って提起された苦情を、回答当事者が回答する十分な時間があることを条件に、次に予定されている Board で審議するものとする。これらの手数料は返金されない。

Amend By-laws 122.2.1 and 122.2.2 Complaints – **approved**

この変更は 2024 年会員投票の一部となる。

● Show Rule 21.59 (「罰則を科す」の定義) を追加する。

Add Show Rule 21.59 Define “penalize” – **no action**

● Show Rule 22.7 を追加、215.7 および CP53.7 (喫煙) を改正

Add Show Rule 22.7, amend 215.7 and CP 53.7 Smoking – **no action**

● Show Rule 24.3 (競技規則 24.3 (21 日ルールに基づく払い戻し) の改正

理由: T ICA の目標には、教育、責任ある猫の飼い方、猫の適切なケアを通して、全ての家猫の健康と福祉を促進する目的が含まれており、この目標達成の一環として、ショーに出陳した猫が伝染性の病気にかかった場合、自分の猫の健康だけでなく、ショーに参加した他の猫や子猫、他の出陳者の家の健康も危険にさらされるため、ショーに参加するタイミングについて責任ある決断をするよう、出陳者に奨励しています。ショーに参加するための費用が高騰する中、早めにエ

エントリーした出陳者は早めに申し込んだがためのプレッシャーを感じている。そうでなければ、クラブが既存のルール以外の特例を認めない限り、エントリー費用は出陳者の手元に戻らないからだ。この提案は、ショー会場にいるべきでない猫で、閉会前にショーから容易に退出できる猫について、クラブがエントリー費を返金することを義務付けるものである。閉会前に出陳が取り消された場合、クラブは費用（審査費用など）を負担することなく、出陳者は出陳料を猫の世話にかかる費用と相殺することができる。これは出陳者にとって、ショーに参加することよりも猫の健康と幸福を優先させるインセンティブとなり、また全ての猫の福祉を何よりも優先させる責任ある猫の飼い方の文化を促進することができます。

Rules Chair 注：これは猫の展示方法には影響しないので、会員投票によって承認されれば、直ちに発効することができる

Amend Show Rule 24.3 Refunds under 21-Day rule – withdrawn after

discussion（協議の結果、取り下げ）再提出される

● Show Rule 26.3 (Benching) を追加

26.3 Show management は猫のベンチングの為安定した台を提供しなければならない。
この提案は猫の審査には影響しないので、会員に承認されれば直ちに発効すべき

Add Show Rule 26.3 Benching – no action

● Show Rule 29.3.4 (代理ジャッジの採点)

理由：現在の競技会規則 29.3.4.1 の文言では、代理ジャッジのもとで獲得したグランド・チャンピオン／チャンピオン・アルター／マスターのタイトルは、「異なるジャッジ」のもとで獲得したものとしてカウントされるべきであるとしている。この表現にはいくつかの問題がある。まず、「別のジャッジ」とはどういう意味なのか。ジャッジ B がジャッジ A の代役を務める場合、この「別のジャッジ」とは誰のことか？このルールの私の解釈では、A でも B でもない架空のジャッジです。しかし、一般の人々の予想では（私はかなりの数の出陳者にそれを尋ねました）、それはジャッジ A です。彼らはジャッジ A の宣伝でショーに参加し、ジャッジ A の下で勝利がなされることを期待している。

第2に、現在、グランドチャンピオン／チャンピオン・アルター／マスターのタイトルには異なるジャッジからの勝利の獲得条件はないが、チャンピオン／チャンピオン・アルター／マスターのタイトルには異なるジャッジからの勝利の獲得条件があるので、それに合わせてルールを更新する必要がある。

第三に、EO によれば、実際に猫を担当したジャッジを使ってリングを採点することだが、これはルールの精神に反するようと思われる。また、「架空の別のジャッジ」による採点が、現在のシステムで可能かどうかはわからない。

そこで、私は新たな文言を提案したい。「元々契約していたジャッジ」の下で行われた勝利としてカウントする、というものだ。

グランドチャンピオンシップの最終賞の集計時に」という部分を削除することで、どのような状況でも適用できる普遍的なルールとなる(現在はチャンピオン/チャンピオン・アルター/マスターの計算にのみ適用されるが、将来的に他の賞でジャッジの多様性が求められるようになって、このルールは適用できる)。

Show Rule 29.3.4 を改正する

29.3.4 契約したジャッジが不在の場合、show committee は代理の審査員を指名することができる。このような場合、出陳者は自分がエントリーした猫の出陳を拒否することはできるが、この理由で出陳猫を会場から退場させることはできない。ただし、そのエントリー猫は他のすべてのリングで競技することができる。

29.3.4.1 予定されたジャッジが審査を務めることができない場合、代理ジャッジの下で行われた勝利は、元々契約されていたジャッジの下で獲得されたものとみなされる。

Amend Show Rule 29.3.4 Scoring for substitute judges – **approve**

29.3.4 (代理審査員の採点) を修正する提案を受諾する。修正、満場一致で承認
この変更は **2024 年会員投票の一部となる。**

● Show Rule 210.14 (Exhibitors use of Social Media) を追加

Add Show Rule 210.14 Exhibitors use of Social Media – **no action**

● Show Rule 212.3 (Restore final awards to 2015 status) 修正

理由 : 2015 年以降、様々なクラスで与えられるファイナルの数を修正するために様々な変更がなされてきた。ショーへのエントリーを増やすことを意図していたが、これは実現していない。実際、直近の変更 (AB アルター・クラスに上位 10 位までの入賞を義務付ける) は、一般的にアルター数が少なかったヨーロッパで不満を引き起こしている。ヨーロッパのアルター出陳者たちは、アルターファイナルはタイトルへのステップではなく、「参加賞」だと考えている。私が 20 年前に TICA に入会した当初は、ファイナルを授与する際にすべてのクラスが平等に扱われることが大きな魅力のひとつでした。HHP と HHPK クラスには理解できる例外がありました。私が 20 年前に TICA に入会した当初は、ファイナルを授与する際にすべてのクラスが平等に扱われることが大きな魅力のひとつでした。HHP と HHPK のクラスには理解できる例外がありました。今こそ、ファイナル表彰をこの形式に戻すべきだと思います。

Amend Show Rule 212,3 Number of Restore Final awards to 2015 status

motion carried(8V7) この提案は、2024 の投票において会員に提案される。

● Show Rule 212.3 を改正

212.3 Number of Final Places Awarded (ファイナルの数)

212.3.1 Household Pet Adult class, Household Pet Kitten class, AB アルタークラス。これらのクラスのファイナルは、参加し審査した猫の数により、以下の順位が与えられる：

212.3.2 その他のクラス。これらのクラスのファイナルには、参加し審査した猫の数により、以下の順位が与えられる

Number of Cats	Number of Final Places
Fewer than 10	Equal to Number of cats competing
10 or More	10
Number of Cats	Number of Finals Place
Fewer than 5	Equal to number of cats competing
5-20	5
21	6
22	7
23	8
24	9
25 or more	10

Amend Show Rule 212.3 Restore final awards to 2015 status – motion carried (8 vs 7). This proposal will go to the members for a vote on the fall ballot 可決 (8 対 7) この提案は秋の投票で会員に投票される。

● Amend Show Rule 212.3 (Number of Finals)

- Consistency 一貫性
- すべてのクラスに一律に適用されないポリシーを持つこと。主に Kitten & Championship に出展している出陳者にペナルティを課す
- すべてのクラスで同じルールが適用される方が、出陳者の混乱を招きにくい。
- 出陳者数が少ないショーへの出陳が増える。AB ファイナルのトップ 10 入りの可能性があると感じれば、出陳数の少ないショーにエントリーする可能性が高くなる。
- エントリーを増やすのに苦労しているショーやクラブにとっては、収入が増える。出陳者が増えるということは、口コミ広告が増えるということだ。
- TICA の経費はかからない
- このルールを改正することで、ベテランの出陳者にとっても、新規の出陳者にとっても、ショーへの参加がより魅力的なものになる。その見返りはクラブの収入増である。TICA の露出が増え、会員がより幸せになる。
- shall を may に修正することで、ジャッジは最大 10 件のファイナルを与える裁量を持つことができる。これによってジャッジは、ファイナルにふさわしくない猫にファイナルを与えないこともできるようになる。

●Show Rule 212.3:を改正

212.3 ファイナルの数

212.3.1 Household Pet Adult class, Household Pet Kitten class, and AB Alter class, **AB Kitten class and AB Championship class.**

ジャッジの判断により、これらのクラスのファイナルでは、出陳して審査に参加した猫の数に応じて、以下の順位が与えられることがある

Number of Cats	Number of Final Places
Fewer than 10	Equal to Number of cats competing
10 or More	10

212.3.2 その他全ての **Alter, Kitten and Championship Speciality**。これらのクラスのファイナルでは、出陳し審査に参加した猫の数により、以下の順位が与えられる

Number of Cats	Number of Final Places
Fewer than 5	Equal to number of cats competing
5-20	5
21	6
22	7
23	8
24	9
25 or more	10

Amend Show Rule 212.3 Number of finals – motion carried (9 vs 5). This proposal will go to the members for a vote on the fall ballot

賛成多数（9対5）で可決。この提案は秋の投票で会員に投票される。

●Show Rule 215.8 (不愉快なコメント)追加

Add Show Rule 215.8 Disagreeable Comments – no action

●Show Rule 216.15 (Judge の説明責任) 追加-

Add Show Rule 216.15 Judges Accountability – no action

●Amend Show Rule 217.6.2 (HHP Divisions) 修正

HHP クラスの部門数が 32 に変更されてから 10 年以上が経ったので、シヨールール 217.6.2 の 2 番目に出てくる「household pet division」はもう必要ないと思う。

Show Rule 217.6.2 修正

217.6.2 217.6.2 ジャッジは、216.7 に規定されている場合を除き、ディビジョンのベスト、セコンド、サード・ベストを選出し、その順位はジャッジ・ブックに記録される。

Amend Show Rule 217.6.2 HHP divisions – approved

この変更は 2024 メンバーシップ投票の一部となる。

●Show Rule 217.8 Standing Rule 209.1.1.4.2 (出陳者リスト配布) 修正

理由

出陳者と電子メールで簡単に連絡を取ることができるようになった今、また GDPR を遵守するためにジャッジと JA が出陳者のアドレスを受け取る理由はない。

Show Rule 217.8 および Standing Rule 209.1.1.4.2 出展者リストを修正する。

Amend Show Rule 217.8 and Standing Rule 209.1.1.4.2 Exhibitor List

Distribution – approved

この変更は 2024 メンバーシップ投票の一部となる。

●Show Rule 217.8 の改正

217.8 アワードを授与する際に明らかな誤りがあり、その誤りがアワードの記録後、またはショー終了後まで発見されず、ジャッジブックから正しい勝者を決定できた場合、そのアワードは正しいエントリーに授与されるものとする。正しい勝者が決定できない場合、そのアワードは空位のままとする。ジャッジは、必要な訂正を行い、誤りの発見後 10 日以内にショー・マネージメントおよび事務局に通知する責任を負う。その後、事務局は当該猫の所有者に通知する。

Amend Show Rule 217.8- approved この変更は 2024 メンバーシップ投票の一部となる。

●Standing Rule 209.1.1.4.2:改正

209.1.1.4.2 出陳者リスト。住所入りの完全な出陳者リストは、マークド・カタログと共に、リージョナル・ディレクター、事務局に送付されなければならない

Amend Standing Rule 209.1.1.4.2 Exhibitor List Distribution – approved

この変更は 2024 メンバーシップ投票の一部となる。

●33.1.2.3 (構造的突然変異を伴う実験品種のレビュー) を追加

理由: 現在、実験記録には Registration Rule 33.2.1 (既存の 2 つの国内品種を意図的に交配して開発された品種で、両方の親品種の特徴を新しい品種に組み込んだ品種。品種の特徴として構造的突然変異を持つ品種は、起源品種として使用してはならない) に準拠していない実験的な新しい品種がいくつかあります。この観点から、これらの品種は登録のみのステータスに進むことはできません。したがって、追跡状況は 5 年より早く見直され、それ以上の記録は停止される可能性があります。ヨーロッパの現在の法律を考慮すると、これらの実験的な品種の状況の追跡を停止することは、スフィンクスやアメリカン カールのような構造的突然変異を持つ、認められた血統種の将来を守るのに役立つ可能性があります。

33.1.2 実験的新種は、申請日から 5 年間追跡されます。この初期期間は、Board の承認により延長できます。その時点で実験的品種が登録のみのステータスに進んでいない場合は、その品種は追跡されなくなり、5 年間再申請することはできません。この期間中、同様の名前と繁殖プログラムの Experimental New Breed (実験的新種) は TICA 事務局によって受け入れられない。

33.1.2.2 2021 年 11 月 16 日時点ですでに実験記録に記載されている品種については、最初の 5 年間の期間は 2021 年 11 月 16 日からカウントされます。

33.1.2.3 2021 年 11 月 16 日時点で実験記録に記載されている品種が Registration Rule 33.2.1 に違反している場合、Board は Spring 2025 meeting で公聴会を設定し、それらの品種を実験記録に残すための会員の意見を聴取するものとします。意見の提出は 33.1.2.1 に定められたプロセスに従うものとします。

Add 33.1.2.3 Review of Experimental Breeds with Structural Mutation – approved with some textual changes **33.1.2.3 構造的変異を伴う実験的品種の検討を追加 – 若干の文章変更を加えて承認**この変更は 2024 メンバーシップ投票の一部となる。

●Board Directive Reg Rule 33.3.2.1、33.3.3.7、33.9.2.6 (品種セクション投票) の改正

理由: Board は、Spring 2024 Meeting の議事録で、“品種セクションの投票は、登録規則ではなく TICA 定款に定められた投票手順に従う必要がある”と指摘している。これは投票権を持つ者の資格に関係している。関連する RegRules は将来の曖昧さを避ける為修正する必要がある。

●Reg Rule 33.3.2.1:改正する:

33.3.2.1 New Breed に、既存の品種が「所有」する 1 つ以上の構造的突然変異が含まれる場合 (33.9.4 を参照)、Rules および Genetics Committees に申請書を提出した直後に、影響を受ける品種から同意を得るために事務局に投票を依頼する必要がある。投票は、影響を受ける品種/品種グループごとに 1 回のみ実行でき、投票の結果は最終的なものとなる。

投票の資格を得るには、各メンバーが ByLaws 113.1 の要件を満たし、さらに、投票が発行される月の最初の日より前の 6 か月間 breed/breed group section のメンバーである必要がある。

Registration Only breed として認定されるには、賛成投票が必要です。投票にかかる費用は、投票を依頼する個人の負担となります。

●Reg Rule 33.3.3.7 を改正:

33.3.3.7 もし品種に、既存の品種が「所有する」1つ以上の構造的突然変異が含まれている場合 (33.9.4 を参照)、Rules および Genetics Committees に申請書を提出した直後に、影響を受ける品種の同意を得るために事務局に投票を依頼する必要があります。投票は、影響を受ける品種/品種グループごとに1回のみ実行でき、投票結果は最終的なものとなります。

投票の対象となるには、各メンバーは ByLaw 113.1 の要件を満たしている必要があります、さらに投票が発行される月の最初の日から6か月前まで、breed/breed group section のメンバーである必要があります。

Registration Only breed.として認定されるには、賛成投票が必要で、投票にかかる費用は、投票を依頼する個人の負担となります。

● Reg Rule 33.9.2.6:修正

33.9.2.6 承認された申請書を受領すると、事務局は関連する Breed セクションのすべての資格のある (的確な) メンバーに投票を発行するものとします。

投票の対象となるには、各メンバーは Bylaw 113.1 の要件を満たしている必要があります、さらに、投票が発行される月の最初の日から6か月前まで、breed/breed group section のメンバーである必要があります。

投票は発行日から30日以内に返送する必要があります。Breed Group の場合、チャンピオンシップ ステータスに進むには、Breed Groups で投票する Breed セクション メンバーの過半数が new trait or traits を承認する必要があります。投票結果は、申請書とともに会議の議題に含める必要があります。

Amend Registration Rule 33.3.2.1, 33.3.3.7 and 33.9.2.6 Breed Section Polls – approved この変更は 2024 メンバーシップ投票の一部となる。

● Registration Rule 33.3.5 の改正 (RE への拡張)

理由:2021年の会員投票に続いて 33.3.1.3.1 が追加された。この条項では実験的品種の場合、品種名が TICA 文書で使用されるのは、品種が PNB に昇格した後のみであると規定されている。

33.3.5 (実験品種“Experimental breeds”を登録のみに進めるための規則の一部) は、33.3.1.3.1 との矛盾を避けるために変更する必要があります。

● Reg Rule 33.3.5 改正

33.3.5 Board Directors により Registration Only Breed して正式に承認されると、猫は Stud Book または Foundation Registry. (財団登録簿)に登録されます。(36.2、36.3、36.4、36.5、36.6 を参照。)

Amend Registration Rule 33.3.5 Exp to Re – approved この変更は 2024 メンバーシップ投票の一部となる。

●Reg Rule 33.11 (Revoke Championship of a Breed or of a Trait) 追加

理由. 1) TICA には、advancement of New Breeds および New Traits の促進に関する詳細な手順があります。それらを排除するための手順はありません。このシステムは不均衡です。

2) これらの規則が施行されれば、Genetics Committee やその他の関係者が advancement of a New Breed や New Trait の発展を支援しやすくなります。現在、私たちは次のことをトレードオフしなければなりません。

a) 品種や形質の特徴に直接関係している可能性があるが、中年期に現れたり、影響を受けた猫を飼っているブリーダーによって隠されていたりする、将来起こりうる健康や福祉の問題に対する懸念

b) チャンピオンシップ ステータスの承認を得るために熱心に倫理的に取り組んでいるブリーダーに、大幅な遅延のない合理的なタイムラインを提供すること

品種や形質を廃止する可能性があり、将来的に深刻な問題が発生した場合、正確な遺伝子、正確な突然変異、およびそれがもたらす可能性のあるすべての将来の悪影響を知らずに、何かを導入する方が簡単です

3) 現在、ヨーロッパでは反品種法が広がっています。これは、私たちの品種の健康と保存に対する実存的脅威です。これらの品種禁止の公式根拠は、さまざまな品種の猫の命が拷問に等しいということです。個々の品種の具体的な根拠は、これまでのところ、明らかに間違っていることがよくあります。しかし、チャンピオンシップから品種や特性を削除するメカニズムがないため、協会としての私たちの声明は、そうした場合よりも信頼性が低くなります。私たちは、いくつかの特性に付随する問題も知っています。私たちの基準は、他の特性を防ぐように書かれています。私たちは積極的に行動する必要があります。レスリー・ライオンズ博士が最近のプレゼンテーションのスライドで述べたように、「品種を定義する突然変異が健康上の問題を引き起こす品種を「引退」させる」ことができる必要があります。私たちの組織が、血統書付きの猫、実際にはすべての猫の健康と福祉を真剣に受け止めていることを示すことができる必要があります。

4) この件は、個人やクラブの集まりではなく、TICA の承認を受けた公式委員会によって提起されなければならないことを明確にしておきたいと思います。これは深刻な問題であり、軽々しく取り組むべきものではありません。ルール、遺伝学、猫の福祉、基準、審査委員会、または理事会などの委員会には、引退請願に必要な専門知識があります。私たちは、この件が、TICA チャンピオンシップの品種が健康であり、個々の猫がその品種や特性に取り返しのつかないほど関連している有害な遺伝子に邪魔されることなく、幸せで健康な生活を送れることを確認する以外の目的で使用されることを望んでいません。

Add Registration Rule 33.11 Revoke Championship (チャンピオンシップの取り消し) of a Breed or of a Trait – not approved (9 vs. 5)

● Isolated Area List Standing Rules 1012.1 (Regional List) および 1012.3.1 (Isolated Area List) の改正案

理由 - アラブ諸国はすべて IN 圏にあり、クウェートも IN 圏にあるのは理にかなっている。

Amend Standing Rule 1012.1 Regional List and 1012.3.1 Isolated Area List – approved **この変更は 2025 年 5 月 1 日より発効**

1012.3.1 Isolated Area List: Asia East – South Korea; Europe North – Belorussia, Estonia, Finland, Latvia, Lithuania, Norway, Russia, Sweden, Ukraine; Europe South – Albania, Andorra, Bosnia– Herzegovina, Bulgaria, Croatia, Cyprus, Czech Republic, Gibraltar, Greece, Israel, Kosovo, ~~Kuwait~~, Macedonia, Malta, Moldova, Montenegro, Portugal, Romania, Serbia, Slovakia, Slovenia, Spain, Turkey; Europe West – Channel Islands, Iceland, Ireland, Isle of Mann, Northern Ireland; Great Lakes – Manitoba CA, Nunavut, CA; North West – Alaska, Alberta CA, Northwest Territory CA, Saskatchewan CA, Yukon CA; South America – Entire Region; South Central – Mexico; South West – Hawaii; International – Entire Region.

● Standing Rule 209.1.1.4.3 (Uniform Finals Sheets) 削除-

理由:この規則は 20 年以上実行されたことがなく、いずれにせよ EO 承認の最終シートのリストは存在しません。したがってこの規則は廃止する必要があります

Standing Rule 209.1.1.4.3 を削除。

~~209.1.1.4.3 事務局がショー用品として提供したユニフォームファイナルシート（または事務局が承認した代替バージョン）は、事務局に送付するマーク付きカタログで使用する必要がありません。マーク付きカタログとともにマーク付きユニフォームファイナルシートを提出しなかった場合、理事会の指示に従って 25 ドルの罰金が科せられます。~~

Delete Standing Rule 209.1.4.3 Uniform Finals Sheets –[withdrawn 撤回](#)

● Standing Rule 107.4 (Breed Committee の任務) 追加

理由:

Spring 2024 Meeting で、Board は EO に対し、Breed Committee Chair ではなく Breed Committee の投票を発行する責任を EO が負うことを指示した。その目的は投票プロセスの一貫性を確保することです。これは運用手順を網羅しているため、新しい (Standing Rule) 定款が適切です。

● Standing Rule 107.4:追加

17.4 Breed Committees.の義務。Breed Committees.の義務は、Breed/Breed Group Section の正当な投票権を持つメンバーによって提出された品種スタンダードの変更、修正、または削除の提案について、Breed/Breed Group Section のメンバーを代表することです。Breed Committees.に提出された提案は、Breed Committee Chairperson が Genetics and Rules Committees,およびルールコミッティに検討および承認のために提出する前に、委員会の過半数の投票によって承認される必要があります。Breed Committee Chairperson は、Breed Committees による承認後 5 日以内に承認された提案を前述の委員会に提出し、委員会によって

承認されなかった提案を最初に提案を提出した個人または個人に返却する責任があります。Breed Committees.のメンバーは、前述の委員会または個人に提出された品種提案にコメントを添付できます。Genetics and Rules Committees,およびルールコミッティの承認後、提案は118.2 に従って、Breed/Breed Group Section の投票のために事務局に提出される必要があります。

107.4 Breed Committee members の投票は事務局によって行われ、その結果は Breed Committee Chair に報告されるものとする。

Add Standing Rule 107.4 Breed Committee Duties – approved

● Judging Program Article Thirteen (継続教育) の改正

理由：Judging Committee は、Judging プログラムの監督、管理、更新を行うために 2018 Winter Meeting で設立されました。これには継続教育が含まれますが、これに限定されません。この時点で、Judging Committee は継続教育を規定する第 13 条について検討する用意がありません。

- Judging Committee に適切な参考資料を追加する。
- Judges/Trainees が CEU を取得できる猫のファンシーアクティビティをさらに追加
ジュニア・エキシビター・リングの指導、TICA 委員会への参加など
 - Emeritus Judges, (名誉ジャッジ) を除くすべてのジャッジとトレイニーに年間 6 回の CEU 取得を義務付ける。
- 第 14 条 CEU 資格/制限に関するすべての言及は第 13 条に移動された。

● JP Article 13 を改正

413.1 ショーの運営者とジャッジの許可を得て、Judging プログラムに参加する人は誰でも、より多くの知識を得る目的でトレーニングセッションとして猫種や色を扱うことが奨励されます。

413.2 CEU は継続教育単位です。1 時間の指導が 1 CEU に相当します。~~1 セッションにつき 6 CEU を超える付与はできません。~~

413.2.1 ショーシーズン中、judging school、breed seminar、genetics seminar、judges' conference または workshop のいずれか 1 つ以上に出席して、6 CEU を取得する必要があります。また、ジュニア出陳者リング、リングトレーニング、および/またはクラークの指導によっても CEU を取得できます。Judging Committee Administrator は、その他の猫関連の活動に対しても CEU を付与できます (猫関連の出版物への記事の執筆、TICA 資料の翻訳、TICA 委員会への参加、猫の健康セミナーへの出席など、ただしこれらに限定されません)。

413.3 Judges・trainees は CEU を取得する必要があります。

413.3.1 A Judge Emeritus (JE) は CEU 要件が免除されます。

413.3.2 出席単位は、第 14 条の要件を満たすブリードセミナー、遺伝学セミナー、ジャッジングスクール又は judges' conferences に対してのみ取得できる。

~~Distinguished Judge、少なくとも 2 年に 1 回は judges' conference または breed seminar を主催するか、judging school 又は genetics seminar (資格がある場合) を実施する必要があるありません。この期間中は、追加の CEU は必要ありません。~~

413.3.3 No more than two CEUs may be earned for a Judges' conference in each show season. 各ショーシーズンの Judges' conference では、2CEU までしか取得できません。ショーシーズンごとに ~~judges' conference やブリードセミナー~~ を主催したり、~~judging school や genetics seminar (資格がある場合)~~ を開催することが推奨されます。これを行った場合、その年のショーシーズンには追加の CEU は必要ありません。それ以外の場合、Judge of Merit は 6 CEU を取得する必要があります。

413.3.4 認定リングインストラクターは、リングトレーニングセッションを実施して完了すると、1CEU クレジットを取得できる (完了したトレーニングセッションごとに1時間のCEU、~~413.3.4.1~~この方法では、ショーシーズンごとに年間最大 3 つの CEU を取得できます。413.4 第 14 条の要件を満たす上記のいずれかのスクール、セミナー、会議、またはワークショップセッションを実施または司会することは、出席の要件を満たすこととなります。

413.4.1 認可された学校または認可された遺伝学インストラクターは、Judging School /ワークショップまたは遺伝学セミナーでの指導時間 1 時間ごとに 1.5CEU を取得するものとする。413.4.2 すべての Allbreed Judges は、セミナーを開催して参加することが奨励されます。~~413.4.3~~講師またはモデレーターは、セッション終了後 1 か月以内に、タイプまたは印刷された出席者リストを出席者の署名と講義内容の要約とともに Judging Administrator または Designee に送付するものとします。

413.5 Clerking Schools, Junior Exhibitor Rings and Clerking

413.5.1 ジャッジは、クラッキングスクールまたはジュニア エキシビター リングのいずれかを実施することで、1 CEU クレジットを獲得できます。この方法で獲得できる CEU は、ショーシーズンごとに年間最大 1 つとなります。

413.5.12 ジャッジは TICA ショーでクラークを務めることが奨励されています。クラークとしてショーシーズンごとに最大 1 つの CEU を取得できます。

シーズンごとに最大 1 つの CEU を取得できます (414.2.1 を参照)。

413.7 CEU 単位は、他の組織が主催する学校、セミナー、コース、シンポジウムに対しても、Judging Committee によってケースバイケースで付与される場合があります。Judging Committee の事前承認が必要で

Amend Judging Program Article Thirteen Continuing Education – **approved** の変更は直ちに発効

TICA Clerking プログラム スポンサーは、18 歳未満の人が TICA Clerking プログラムに参加できるように支援し、TICA Clerking Administrator をより直接的かつ個人的に支援するための追加サポートを提供するための新しい役割です。この役割はすべての応募者が利用できますが、TICA Clerking プログラムへの参加と昇進を目指すために必要なガイダンスを確実に受けられるように 18 歳未満の方のみに求められます。

51.2.3 修正

51.2.3 Trainee Status.

各申請者は、Clerking プログラム申請書（郵送または電子メール）を Clerking Administrator に提出し、さらに最近の 4 インチ x 6 インチのカラー写真（ポラロイドは不可）を添付する必要があります。この写真には猫が写っているか写っていないかは問いません。郵送または電子メールで提出してください。申請料 15 ドルを小切手または PayPal アドレス paypal@tica.org で事務局に送金してください。18 歳未満の方、およびオプションでその他の方全員の場合、申請者は TICA クラーク プログラム スポンサーを持っている必要があります。これらの要件が満たされるとすぐに、申請者はトレイニーとしてこれらの要件が満たされるとすぐに、申請者は研修生としてプログラムに登録されます。トレイニーがダウンロードできるすべての clerking 資料は、TICA Web サイトのプログラムとフォームから入手できます。

~~昇進を申請する前に、以下の手続きを完了する必要があります。~~

~~51.2.3.3 Attend a Clerking School (electronically or in person)~~

Amend Clerking Program 51.2.3, – approved この変更は直ちに発効

● 51.7 新しく追加

51.7 TICA Clerking Program Sponsor

51.7.1 TICA クラッキング プログラム スポンサーは、TICA ヘッド リング クラーク、マスタークラーク、または TICA ジャッジの資格を持つ者であれば誰でもかまいません。スポンサーは、18 歳未満のすべての応募者、およびオプションでその他のすべての応募者の TICA クラッキング プログラムへの参加において重要な役割を果たし、プログラムの最初の紹介と試験を通じて応募者の進歩を指導します。

51.7.2 スポンサーは申請者の経歴についてある程度の知識を持ち、理想的には申請者と同じ地域または近隣地域に居住している必要があります。スポンサーは申請者と良好な関係を築き、相談相手、メンターとして機能し、必要に応じて翻訳の支援を提供する必要があります。

51.7.3 スポンサーはヘッド リング クラークとして務めることが推奨され、応募者はスポンサーのリングで少なくとも 1 回はアシスタント リング クラークとしてトレーニングを受けることになります。

51.7.4 スポンサーは、Clerking Administrator と協力して、Clerking プログラムへの入学または Clerking プログラム内での昇格の要件が満たされていることを確認するとともに、昇格のために提出されたヘッド リング クラーク試験を確認します。申請者がヘッド リング クラーク ライセ

ンスを取得したら、スポンサーは引き続きサポート役を務め、申請者がマスター クラーク ライセンスを取得できるよう支援します。

● 51.7 を 51.8 に再番号付けし、古い 51.7.3 51.87 その他を削除

51.87.1 Clerking 契約。クラブは、クラークの連絡先を利用してリングクラークおよびマスタークラークと契約することが推奨されます。クラークは、マスタークラーク、ヘッド リングクラーク、またはアシスタント リングクラークとして働くことに興味がある場合、ショーのエントリーフォームに契約書を提出できます。

51.87.2 服装規定。クラークは適切な服装をする必要があります。クラークは目立つ立場にあるため、適切な服装は、出陳者に質の高いショーを提供するというショーコミッティの努力にふさわしいものとなります。

~~51.7.3 TICA ジュニアは、18 歳になり、現在 TICA 成人会員である場合、地域ディレクターとジュニア連絡担当者から事 Clerking Administr に確認を得て、ジュニアクラーク資格を成人プログラムに移行することができます。~~

Amend Clerking Program add new 51.7 Junior Exhibitors – approved

● Junior Exhibitor Program 83.3 (優秀なクラーク) 修正

TICA クラッキングプログラム スポンサー修正案のパートナーとして、Junior Exhibitor Committee は、クラークとしての卓越性を当プログラムに追加する承認を要請します。修正案は両方とも、経験豊富な 18 歳未満の Junior Exhibitor が TICA クラッキングプログラム内でライセンスを取得しようとしたときに提案されました。未成年者の年齢に関する懸念と、両プログラムの枠組み内での作業のため、Clerking Administrator Carolina Fralia、JE コミッティ、ボード連絡担当者と話し合いが行われました。両提案は、これらの話し合いの後に作成された Junior Exhibitor プログラムには、あらゆる年齢層の素晴らしい参加者がいます。委員会としての目標は、彼らが青年期以降も関心を持ち続けるようにすることです。当委員会のサポート、励まし、TICA ファミリーのおかげで、ジュニアたちは学び、参加し、自信を深めています。この事務員としての卓越性の栄誉が追加この優秀資格を取得して「卒業」するには、ジュニアは TICA クラーク プログラム ガイドラインに従い、プログラム スポンサー、クラーク スポンサー (異なる場合)、および TICA Clerking Administrator のサポートを受けてヘッド リングおよびマスタークラークの資格を取得する必要があります。

● Junior Exhibitor Program 83.3 修正

83.3 Junior Exhibitor プログラムと優秀賞。ジャッジングプログラムを含むさまざまな TICA 関連の活動に関心のある Junior Exhibitor は、追加の要件を満たすことができます。

Junior Exhibitor プログラムと追加の要件を完了すると、Junior Exhibitor は Junior Exhibitor プログラムを優秀賞で完了したものとみなされます。

Junior Exhibitor プログラムの優秀な修了は、以下の分野で認められます。

TICA ジャッジングプログラムへの参加を申請するための資格

情報技術における優秀性（ショー/クラブのウェブサイト、ソーシャル メディア）人道的プログラムにおける優秀性（シェルター、TNR クリニック、里親制度）

展示における優秀性（生涯功績または指定されたレベルへの展示）教育における優秀性（猫の教育における若者への正しい活動（Cat Care 101、TICA U）

個人の優秀性:地域管理における優秀性（ショーレポーター、地域のウェブサイト、ニュースレターなど）

ショーの制作と管理における優秀性（ショーの管理）繁殖における優秀性（1 頭以上の

Outstanding Sires or Dams）科学と猫の健康における優秀性（genetics/veterinary sciences）

クラークとしての優秀性（ヘッドリングクラークおよびマスタークラークとしての資格）

Amend Junior Exhibitor Program 83.3 Excellence in Clerking - [approved](#)

この変更は直ちに発効

● TICA Mentor Program Manual (Update) 修正

TICA メンター プログラム マニュアルが、長年ぶりに更新されました。

委員会の権限に従い、この更新はボードに提出され、承認されます。

TICA メンター プログラム マニュアルの修正:

この文書は、約 20 ページの長さがあるため、付録として提供されます。

Amend TICA Mentor Program Manual (Update) – [withdrawn](#)

● UCD 74.4.1 を削除し、用語集を修正 (Locket)

Delete UCD 74.4.1 & Amend Glossary of Terms – [no action](#)

● Caracat を実験的新種から登録のみに昇格させる要請

猫の世界は絶えず進化していて、すでに確立されたスタンダードをさらに完璧に満たそうと努力する猫種がいる一方で、新たなスタンダードに従って新しい猫種を作ろうと努力する猫種もいます。この観点から、私たちは数年にわたり Caracat の開発に取り組んできた、さまざまな国の倫理的なブリーダーです。

私たちの品種は、実験的な品種から、TICA のカテゴリー IV 国内ハイブリッド種への登録に移行する準備が整ったと考えています。

Caracat と他の猫種との違い

最初に知られている **Caracat** は、猫と Caracal の偶然の交配から生まれました。

それ以来、Caracalの外観を持つ飼い猫の猫種を作るというアイデアが生まれました。そのため多くの猫の猫種が使用され、今日ではCaracalは、その起源にもかかわらず飼い猫とみなすことができます。さらに、私たちは飼い猫の猫種のみとの認可された交配を行うことで、カラカルの開発を継続するつもりです。そのため、当初のリクエストを検討した後、TICAでの残りの旅では、Caracalの品種をハイブリッド猫のカテゴリーではなく飼い猫のカテゴリーに登録する方が正確で適切であると考えています。

したがって、他の猫とは違ったユニークな猫を手に入れることが目標です。CaracalはミニチュアCaracalのように見えなければなりません。それが、現在までに認識されているすべての猫種とは異なる点です。私たちが保存したいCaracalの主な特徴は、運動能力の高いシルエット、ticked color オオヤマネコのような先端を持つ大きな耳、facial makeup、中くらいの長さの尻尾です。

野性的な外見ではありますが、同時にバランスの取れた、自信があり、好奇心旺盛で、活動的で、人間に親しみやすい猫を飼うことが私たちの目標です。したがって、この猫種の行動特性は、求められる比類のない外見と同じくらい重要です。

Standard 概要

全体的な外観: 理想的なCaracalの全体的な外観は、優雅な猫と野生的なタイプで非常に猫らしく、Caracalは全体的に静かな強さの印象を与える必要があります。Caracalは肉体的にも精神的にもバランスが取れている必要があります。

Head: 柔らかな輪郭を持つ調和のとれた顔。額から鼻への移行がやや顕著です。

Face: 丸い。目の下隅に涙のような模様があり、目と鼻の周りの顔のメイクも望ましい。ひげに暗い模様があっても歓迎される。成猫では顎がより発達している。

Ears: 耳は大きく、幅広く、根元が開いており、頭の上の十分な高さに位置し、適度に尖っています。耳の上の先端は特に望ましい特徴であり、耳の後ろはより暗い色であるべきです。

Eyes: アーモンド型で、大きく、明るく、表情豊かです。目は明るい色調で囲まれた暗い線で描かれています。目の色は金色または緑色で、中間色まであります。

Body: は中型から大型までバランスが取れていなければなりません。猫の大きさよりも、バランスのとれたプロポーションが重要です。首は適度に長くて丈夫です。

Paws: 足は多指症にならずに理想的な幅広さである

Tail: 比較的短く、根元が太く、先端に向かって徐々に細くなっています。先端は黒色です。トラ柄の縞模様はあってはなりません。

Fur: 非常に柔らかく光沢のある、密度の高い毛質。中程度の長さで、かなりふさふさしている必要があります。毛皮は常に縞模様で、理想的には縞模様はありません。ただし、足には縞模様があっても許容されます。腹部には斑点があることが多いですが、これは許容され、望ましいことでもあります。

Colors: ゴールデンカラーはワイルドとも呼ばれ、Caracalの本来の色ですが、現在、ブルーやシルバーなどの他の色も開発中です。鼻はピンクで縁取りは黒、または完全に黒です。肉球は暗く、メインの色と調和している必要があります。

Our breeding plan

Caracat を domestic カテゴリーに移行することで、Caracal との横断は許可されなくなると理解しています。

私たちが求めている結果、つまり Caracal,の外観を持つ猫を実現するために、私たちが計画している交配は次の通りです。

Caracat, Abyssinian, Maine Coon, Oriental and domestic Short Tail

Caracat: 基準に達して安定したら、私たちの目標はカラキャット同士を **Caracat** だけで交配できる段階に到達することです。

Abyssinian: アビシニアンは Caracat の開発に使用された最初の品種です。その主な理由は、その色と、私たちが保存したいと考えている縞模様の毛皮です。この品種を使用することで、ブリーダーは金色、青、銀色の毛皮も扱えるようになることにも注目すべきです。

Maine Coon: Maine Coon はその大きな体だけでなく、耳の房毛 (tuffs) も理由に選ばれました。この猫種の使用には、Caracat の遺伝子に長毛遺伝子を導入することが含まれることに注意してください。ただし、この遺伝子は劣性遺伝子です。

Oriental: Caracal は比較的ほっそりとした外見と大きな耳を持つネコ科動物なので、**Oriental** の貢献は Caracal の全体的なシルエットを洗練させるのに役立ちます。

Domestic Short Tail: Caracat の開発に使用されるほとんどの猫種は長い尾を持っているため、**Domestic Short Tail** を使用すると尾の長さを短くすることができます。

倫理的な Caracat のブリーダーは、これらの品種の猫を繁殖プログラムに含める前に遺伝子検査を受けさせ、望ましくない遺伝子が同時に導入されないようしながら、望ましい特性を血統に提供できることを確認することに留意する必要があります。

Next steps この段階では、Caracat.に求められる特性を固定するために、外部品種の貢献が依然として不可欠です。しかし、今後数年間で、安定した基準に到達し、Caracat×Caracat.の交配を増やす予定です。これを達成したら、少なくとも2年後には、Caracat.を次の段階、つまり Preliminary New Breed に移行するよう要求する準備が整います。

Who we are 私たちは倫理的なブリーダーであり、Caracal.の外観を持つ新しい種類の飼い猫を作り出すという共通のプロジェクトに情熱を注いでいます。Caracal.は、そのユニークで崇高な外観と愛らしい性格により、魅力的な猫の世界に何か新しいユニークなものをもたらすと心から信じています。したがって、私たちは TICA と手を取り合って、私たちが愛する品種が今後も前向きに進化し、最終的には今後数年間で完全に認識されるようになることを願っています。

実験段階から登録のみのルールへのカラキャットの進化委員会の概要

規則の観点から見ると、申請書類には 33.3.3 で指定された項目に一致する必要な要素が含まれていました。以下に示すように、内容に関していくつかの懸念がありました。

ボードが申請を決定する前に、遺伝学委員会の意見も求められます。

Rules Committee は、33.3.3.4 の規定に従い、申請書に記載された人々の会員資格の詳細を確認する上で事務局の協力を感謝の意を表します。

基準: 基準は 33.3.3 に記載されており、ルールの観点からは満たされています。

申請基準には、「33.3.3.4 2つの異なる地域から少なくとも3人の TICA 会員が登録されていること」が含まれています。この基準はちょうど満たされています。申請書に記載されている5人の

うち、1人は有効期限切れの会員であり、もう1人はTICA会員ではありません。残りの3人のメンバーのうち、2人はNEから、1人はNWから来ています。

●HIGHLANDER/HIGHLANDER SHORTHAIR BREED PLAN 2023

尾の変異体研究：2019年のAnnual meetingで、遺伝学委員会は、マンクスのT-Box変異とは関連のない、新しい未知の尾の変異体を探すようハイランダーグループに奨励しました。これに応じて、ハイランダーのブリーダーは、既知の短い尾の変異体を持たない猫を探し始めました。8つの異なる猫舎が、新しい変異体の可能性がある猫を発見しました。Optimal SelectionによるDNA検査により、猫は「新しい」または未知の尾の変異体を持っていることがわかりました。ポビー・テンプルは、2020年12月にミズーリ大学のレスリー・ライオンズ博士に連絡を取り、変異体を特定するための研究を依頼しました。この研究は、ハイランダーゲノムプロジェクトとして知られるようになりました。この研究では、ライオンズ博士と彼女のチームは、新しい変異体を特定し、1. T-box変異の新しい変異体、2. HES7の新しい変異体、または3. まったく新しい変異体/突然変異のいずれかであるかどうかを判断しようとしています。ライオンズ博士は、異なる血統の3匹の猫をc.998_1014dup17delGCCについて検査しました。猫は、最適選択法によって、3つの既知のTボックス変異(c.998delT、c.1169delC、c.1199delC)とHES7(日本猫とクリル猫に見られる尾の変異)について検査されていました。猫には、既知の尾の変異は何もありませんでした。これら3つの血統はライオンズ博士によって検査され、完全に新しい変異のDNA証拠が得られました。他の5つの血統は、c.998_1014dup17delGCCについて検査されていません。ライオンズ博士が少なくとも1つの新しい変異を特定したら、他のすべての血統でその変異を検査します。新しい変異がすべての血統で一致しない場合は、新しい変異が複数ある可能性があるため、さらにゲノム検査が必要になります。

アンダーソンら(2022)による研究では、検査されたハイランダーのうち40.6%(94/231)のみがマンクスTボックス変異の1つを持っており、未知の尾の変異体がこの品種で一般的になりつつあることが示された。

未知の変異を持つ猫は、尾の長いハイランダーと交配されその後、子猫はOptimal Selectionで検査され、最も一般的な既知の変異のいずれかを持っているかどうか判断されます。頬のスワブは元の猫とその子孫から採取され、ミズーリ大学での研究に送られます。クラブクリークキャットのトミ ラリン(テンプルパンテラ)とその両親は、ゲノム配列が決定された最初のハイランダーでした。この系統は非公式にテンプル/クラブクリーク系統と呼ばれています。これまでに3つの血統から39個の頬のスワブが送られてきており、子猫が生まれるたびにさらに送られてくる予定です。他の2つの証明された血統は、ブラッドリー/NYシティスリッカー系統と、ワイルドワンダフルハイランダーズのブラッドリー/ダヴァリ系統です。この変異は単純な優性突然変異のようで、片方の親が変異を持っているだけで自然に尾の短い子猫が生まれます。これらの尾は短く太く、ねじれの原因となる遺伝子に関連するねじれやカールがありません。新しい変異体の交配により、同じ血統の同じ新しい変異体を交配して結果を記録できるほどの世代が生まれました。頬粘膜スワブはLyons博士に送られ、変異体が特定されるまで保管されます。その後Lyons博士は変異体のホモ接合性を検査できます。新しい変異体はまた、2つの一般的なT-

Box 変異を持つハイランダーと交配され、相互作用がどのように起こるかが調べられています。最新情報は 9 月の会議時に提供されます。ミッドウェスタンとダークサイドの 2 つのキャッチャーが、この研究の対照群として機能し、c.998delT または c.1199delT を持つ猫のみを繁殖させ続けています。新しい変異を持つ猫はショーに登場し、審査員によって扱われ、遺伝学委員会の 2 人がショーでそれらを扱い/見て、ライオンズ博士に観察結果を提供しました。2019 年の会議以来、猫のコミュニティでは、栄養、健康、および医学が尾の変異に関与している可能性があるという証拠があります。ある研究では、「観察結果から、追加の遺伝的要因（他の遺伝子座など）または環境要因、またはそれらの組み合わせが T と相互作用して、マンクス猫の短尾表現型を修正することが示唆されています」（Buckingham、et. Al 2013）。研究ではさらに、「T 変異体は他の種の短い尾を持つ表現型をすべて説明するわけではない」と述べられています（Hytonen ら、2009 年）。葉酸が人間の二分脊椎の場合のように役割を果たしていることを証明する臨床研究は行われていませんが、私たちの猫舎では栄養補助食品によって脊椎奇形やその他の異常のない健康な子猫が生まれました。ヨーロッパでは、数人のマンクス ブリーダーが葉酸を使用して良い結果を出しています。品種委員長の Mary Hudec は、影響を受けた子猫がいる猫舎に遺伝子検査を提供し、遺伝情報を収集して研究者に提供することを申し出ました。これまでのところ、2017 年に検査が始まって以来、影響を受けた子猫がいる猫舎はありません過去数年、ハイランダーは耳のカールが似ているにもかかわらず、アメリカンカールとの遺伝子マーカーを示さないことが発見された。アンダーソンら（2022）は、アメリカンカールの 40.4% が血液型 B であったのに対し、研究対象となった 231 匹のハイランダーでは 0.4% であったことを示した。ハイランダーは 99.6% が A 型です。オプティマルセレクションは、2020 年以前に猫間の遺伝的関係を示すブリーダー向けツールを含めていました。オプティマルセレクションは、両方の種に c.998delT が存在することで説明できる、いくつかのハイランダーをピクシーボブ種と関連付けましたが、検査されたどのハイランダーにもアメリカンカールとの遺伝的つながりはありませんでした。アンダーソンらによる遺伝子研究。Al（2022）は、231 匹のハイランダーのうち 4 匹だけが遺伝子マーカーのコピーを持っていることを明らかにした。品種部門は、メンバーに遺伝子マーカーを持つ個体を改変するよう奨励しています。2020 年にハイランダーがアメリカ猫愛好家協会（ACFA）に受け入れられたとき、メンバーは、すべてのハイランダーの個体が多指症ではないこと、または既知の遺伝性疾患のキャリアではないことを証明するために遺伝子検査を受けることを義務付ける登録規則を制定しました。現在、子猫を登録するには、両親が検査に合格し、多指症ではないことが必要です。これらの登録規則は、新しいブリーダーが標準外の猫をプログラムから排除し、チャンピオンシップに出場できる猫も生産できるようにすることを奨励するのに役立っています。ハイランダー猫は、その協会のショーの定番となり、3 匹のハイランダーが全猫でインターアメリカン賞、2 匹がアルタークラス、3 匹が子猫クラス、および多数の地域賞を受賞した。ハイランダー コミュニティは、この品種がショーで競う上位 3 品種に常にランクインするよう支援してきました。

STANDARD CHANGES

今年、私たちはまた、耳の説明を更新し、尾の最小長さを骨から 1 インチから 2 インチに延長する基準の変更を提案しています。この変更は猫の健康のために行われます。その理由は、尾が 1 インチだと、少し短い尾を持つ猫や、尻尾が少し出ているだけの猫を繁殖させたり、展示した

りしたくなる人がいるかもしれないからです。最小 2 インチにすると、繁殖プログラムで尾が短い猫が減る可能性があります

参考文献

Anderson, H., Davison, S., Lytle, K. M., Honkanen, L., Freyer, J., Mathlin, J., ... & Donner, J. (2022).

Genetic epidemiology of blood type, disease and trait variants, and genome-wide genetic diversity in over 11,000 domestic cats. *PLoS Genetics*, 18(6), e1009804.

Buckingham, K. J., McMillin, M. J., Brassil, M. M., Shively, K. M., Magnaye, K. M., Cortes, A., ... &

Bamshad, M. J. (2013). Multiple mutant T alleles cause haploinsufficiency of Brachyury and short tails in Manx cats. *Mammalian genome*, 24, 400-408.

Hytonen MK, Grall A, Hedan B, Dreano S, Seguin SJ, Delattre D, Thomas A, Galibert F, Paulin L, Lohi H,

Sainio K, Andre C (2009) Ancestral T-box mutation is present in many, but not all, short-tailed dog breeds. *J Hered* 100:236-240

● Highlander Group –チャンピオンシップ進出申請概要:

Rules Committee は、ハイランダー グループによるチャンピオンシップへの昇格申請を審査し、以下の「Breed Standard」で提起された懸念事項の解決を条件に、申請を承認しました。この文書が議題のために EO に送信された時点で、ルール委員会はこれらの懸念事項についてワーキング グループ議長から何の返答も受け取っていませんでした。ルールコミッティは TFMS にアクセスできないため、申請書内の登録情報は執行部が確認したものとみなします。委員会は、この申請書の会員およびブリーダー情報を確認してくれた執行部に感謝いたします。この申請書は当初 2023 Annual meeting に提出する予定でしたが、ルールコミッティが間に合わなかったため、Winter 2024 meeting に延期されたことに注意してください。

Comments on Breed Standard:

- なぜ「カラー」の「すべて」に「but bicolor」を追加するのでしょうか？ リストされている部門では、白を含むカラーは除外されます。また、TICA ではバイカラーは特定のパターンであり、特定の猫種に限定されており、白を含むすべての猫に当てはまるわけではありません。この文言は意味をなさないものです。
- 許容範囲で、新しい断片：「子猫は成猫よりもカールの度合いが大きい場合があります。子猫が成長するにつれてカールは緩みます。」これは「耳」のカールを意味しているかどうかは明らかではありません。明確にするために、最初の文の「カール」の前に「耳」という単語を追加する必要があります。
- 彼らの繁殖計画には、尻尾に関する多くの遺伝子研究が詳しく記載されており、尻尾を生み出す独特の尻尾の突然変異について言及しています。引用します。「(...) 短くて太く、ねじれを引き起こす遺伝子に関連するねじれやカールがありません。
- しかし、標準では、尾の説明に次のような一節があります。「尾には余分な肉、フック、またはねじれがある場合があります。ねじれやカールは許可されており、まっすぐな尾とねじれた尾の間にポイントの違いはありません。」
- 尾の突然変異の混合を理由に進歩を拒否され、進歩を許可されるために独自のものを見つけない場合、なぜ彼らは尾のすべての表現を許可し、目的の遺伝子の結果である表現、つまりねじれやカールのない短くて太い尾だけを許可しないのでしょうか。

●ハイランダー種のブリーダーが、ねじれやカールのないユニークな尾の突然変異の使用を追求しているのであれば、チャンピオンシップの地位を獲得したい品種の場合、これらの特徴は標準の一部としてではなく、罰則または失格として記載されるべきであることに、私は心から同意します。

Application Criteria (応募基準)

当初審査された申請書には、以下の問題がありました。

- EO の調査により、記載されている 20 のブリーダーのうち、4 のブリーダーは HG/HGS の子猫を登録しておらず、もう 1 人のブリーダーの子猫は 2 年間の期間外で生まれていることが判明しました。これにより、必要な 15 のブリーダーが残りましたが、必要な 5 ではなく、4 つの地域 (GL、MA、NE、SE) からのブリーダーのみでした。
- 意向書に署名した 13 人のうち 3 人は、TICA 会員ではなくなりました。ただし、ルールに定められた最低基準を満たす有効な署名は 10 件残りました。(委員会は、手紙の大半が 2022 年の日付であったことに気付きましたが、当委員会のルールでは、そのような手紙に期限を設けていません)。その後、ワーキング チェアは、必要な期間内に子猫を登録し、意向書にも署名した SC 地域の追加の TICA 会員の詳細を送信しました。これにより、申請は再び準拠状態に戻りました。

●Toybob Breed Group (TB/TBL)

2024 年 Annual Board Meeting に向けた PNB トイボブワーキンググループに関する最新情報をお知らせするために、この手紙を書いています。まず、この手紙の期限を延長してくださった規則委員会に感謝の意を表したいと思います。Dear Board Members, 2024 年 1 月に Working Breed co-Chair に任命されて以来、私は、以前の ANB 申請者を含む TICA の活動的な会員であった以前のトイボブブリーダーを説得し、ブリードグループに参加した新しいブリーダーを組織するために熱心に取り組んできました。私は、全員の視点を一致させ、ルール委員会や遺伝学委員会から提起された懸念に対処することを目指しています。

Sincerely,

Rachel Zimmer

Toybob Working Group co-Chair

July 22, 2024

TO : TICA BOARD

FROM : SERENGETI BREED CHAIR

SUBJECT : ANNUAL SERENGETI BREED REPORT FOR TICA YEAR 2023/2024

新 TICA Breed Chair としてこのレポートを提供する機会を与えていただき、ありがとうございます。これは私の最初のレポートなので、数年を遡って数字を振り返ります。2022 年には、8 匹の子犬が登録され、22 匹のオスと 19 匹のメスが登録されました。2022 年には、21 匹のセレンゲティが登録されました。2023 年には、9 匹の子猫が登録され、12 匹のオスと 16 匹のメスが登録されました。2023 年には、12 匹のセレンゲティが登録されました。2024 年には、4 匹の子猫が登録され、5 匹のオスと 1 匹のメスが登録されています。2024 年には合計 6 匹が登録されており、2404/2025 シーズンにはさらに増える予定です。

2023/2024 年のショーシーズンには、2 つの異なるキャッテリーから 6 匹のセレンゲティが北東部地域で活発にショーに出し、ジャッジから進化について素晴らしいコメントをいただきました。私は現在および将来のブリーダーと連絡を取り合っており、この品種とその発展について話し合い、情報を共有しています。また、他のソーシャルメディアページで知識や写真を積極的に共有し、購入者や将来の関心のあるブリーダーの興味を喚起し、ペットの飼い主に TICA ショーでセレンゲティをショーに出すよう促しています。セレンゲティは現在、Chat Canada Cats への登録が承認されており、私は他の数人のブリーダーと協力して、カナダ猫協会への登録を承認してもらおうとしています。セレンゲティは LCWW でも承認されており、2 匹のセレンゲティが今春のトロントショーでショーに出陳されました。北東部には 4 人のセレンゲティブリーダーがおり、3 人が TICA に登録されており、2 人が SE 猫種をキャッテリーに追加する予定です。私は 3 人目です。ヨーロッパではイギリスに 2 匹、イタリアに 1 匹、アフリカに 1 匹いるとわかっていますが、今のところ TICA に登録されていません。私は TICA でこの猫種の進化を進めるために積極的に関与するつもりですので引き続きご支援をよろしくお願い致します。

Jo-Ann Lapointe Serengeti Breed Chair

2024 Annual breed report:

2023 年 5 月から 2024 年 5 月 1 日までの中途半端な年は、私たちにとっては平穏な年でした。私たちの多くは、前年の ANB ショーと記録保持から回復する時間が必要でした。この間に 11 匹の子猫が生まれ、36 匹の新しい子猫が生まれました。23 匹の猫が登録され、これは 2023 年の 21 匹の猫と同数です。この中途半端な年、ショーはかなり減速しました。私たちは、前年に多くの猫をショーに出陳しようとして疲れ果てていました。しかし、それでも 4 つの地域で 23 のクラスで 17 匹の猫がショーに出陳されました。2024-25 年のショーの年は順調に始まり、6 月中旬までに 3 つの地域で 6 匹の猫または子猫がショーに出陳され、いくつかファイナルに進み、3 匹がチャンピオンアルター以上の成績を獲得しました。このエキサイティングなショーの年の残りを楽しみにしています。私たちのブリーダーたちは、お互いに密接な連絡を取り合い、繁殖や健康について話し合い、期待の持てる新しい子猫の写真を正直な批評とともに共有し続けています。私たちは、可能な場合は国内での異系交配、DNA 検査、HCM スキャンを続けています。私たちは、米国とヨーロッパで協力して働く新しい友人を得ることができて幸運なグループです。

Thank you, Kathryn Stokey , breed co-chair

Breed Reports に関する Rules Committee のコメント (V2) – 2024 年 7 月 21 日 1.

品種レポートに必要な情報については、規則にガイドラインがありません。ブリーダーの数や TICA 地域全体にわたる分布などの重要な情報がなければ、品種が次の進歩段階に向けてどのように進んでいるかを評価することは困難です。

PNB Reports:

33.6.3.3 に基づき、各 PNB breed は、会議の 60 日前までに、Rules Committee, Genetics Committee および事務局に品種の状態に関するレポートを提出する必要があります。

次の品種がレポートを提出する必要があります。

PNB レポート:

33.6.3.3 に基づき、各 PNB 品種は、会議の 60 日前までに、規則委員会、遺伝学委員会、および事務局に品種の状態に関するレポートを提出する必要があります。

次の品種がレポートを提出する必要があります。

• Toybob (TB, TBL)

Toybob Report

Toybob レポートが提供されましたが、当初は出陳された猫に関する情報はありませんでした。

その結果、次のコメントが寄せられました:報告された数は PNB ステータスの品種としては問題ないように見えますが、出陳されている猫はいますか?その後、この情報を提供するようにレポートが更新され、次のコメントが寄せられました:そして今では、情報がはるかに充実し、品種に対する見方がさらに良くなりました。

ANB Reports: 33.7.4.3 に基づき、各 ANB 品種は、会議の 60 日前までに、Rules

Committee、Genetics Committee、および事務局に品種の状態に関する報告書を提出する必要があります。次の品種が報告書を提出しました。

• Serengeti (SE)

Highlander (HG, HGL) group のチャンピオンシップへの昇格申請は今回の会議まで延期されたため、報告は必要ありません。ルールコミッティは、ハイランダー グループに昇格に関する最新情報を提供しよう提案しました。

•Serengeti

報告書を添付します。ブリーダーに説明を求めたところ、次のように回答されました。NE には 4 人のブリーダーがいます。そのうち 1 人はカナダの協会 Chats Canada Cats (CCC) に登録しています。他の 3 人は TICA のメンバーです (ただし、2 人は SE をまだ品種セクションに含めていません)NEW に 2 人のブリーダーがおり、ES に 1 人、インターナショナル地域に 1 人いますが、ジョアンは彼らが TICA に登録しているかどうか確信がありません。

Committee member からは以下のようなコメントがありました。

• 私の意見では、品種が ANB ステータスにある間は、常にこの数を維持するよう努めるべきです。1 年間の小さな中断 (1 ~ 2 人のブリーダー、1 つの地域) は、翌年に回復すれば問題ありません。大幅な中断は、品種がステータスを戻す必要がある兆候である可能性があります。

このレポートの子猫と子猫の数から、ブリーダーの数は大幅に少ないのではないかと思います
が、そうではないかもしれません。各ブリーダーは 2 年に 1 匹しか子猫を産まないのしょう
か。さらに情報が必要です。

•同意します。この品種が進歩しているのではなく、衰退しているように見えること、そして
ANB 品種に必要なブリーダーの数を維持できていないように見えることは残念です。

私も同意します

- New Championship Breeds (Tennessee Rex)

テネシー レックスは、2024 年 5 月 1 日よりチャンピオンシップに進出しました。

33.8.15 および 33.8.16 までに要求される 3 つの年次報告書のうち最初の報告書は、

2025 年次報告書 (ショー イヤー 2024/2025 全体をカバー) まで提出する必要はありません。

ショー イヤーのこれまでの中間報告書が理事会に提出されています。

STANDARD UPDATE RATIONALE

1: 品種の説明：トイボブ ロングヘア (TBL) を更新しました。

理由: ロングヘアの毛の長さはさまざまです。 .

2: ポイントの再調整。

理由: より重要なセクションにポイントを追加します。

3:許容される交配種: 類似した表現型を持ち、構造的変異のないロシアン・ドメスティック・シ
ョートヘアーとロングヘアー。(外来の)構造的変異がなく、検査可能なすべての遺伝性疾患がない
ことを確認するために、DNA 検査を強く推奨します。: ~~現在、品種の遺伝的健全性を確保する
ために、品種の開発および認定プロセス中に交配ポリシーが許可されています~~

理由: 品種を「在来種」のままにしておきたいロシアの仲間の要望により、私たちは以前の基準
でのみロシア国内の異種交配を復活させています。遺伝学委員会は、寒冷地の猫は体温の損失を
防ぐために体がコンパクトで、耳が小さく、鼻先が短い傾向があり、これらの特徴はトイボブの
表現型に近いことに同意するでしょう。TICA にはまだ異種交配猫の DNA 検査が行われたかど
うかを確認する方法がないことはわかっています。しかし、この品種を扱う人は、記載されてい
るものを避けるために国内の猫を検査すべきだというガイダンスを含めたいと考えています。レ
スリー・ライオンズ博士のアドバイスに従い、品種の多様性と健全性を維持し続けるために、異
種交配を永久に許可します。

注: ロシアへの猫の輸出入に問題はなく、今後も継続して行います。また、ウクライナとロシア
の戦争が永遠に続くとも考えていません。

4: HEAD: 形状: 丸みを帯びた輪郭と眉毛の上に平らな面を持つ中型の変形ウェッジ。頭部は幅よりわずかに長く、丸い頬骨が顔から鼻口部中央にかけて内側に湾曲し、わずかにひげが挟まれていないか挟まれていない状態を作り出し、短く丸く変形した四角形の鼻口部で終わる。成人の雄では、頬骨が目立つことが多い。

理由: 文法を更新。"丸い" という矛盾を削除し、鼻先の長さを強調。繁殖していないオスやアルターは、顎が目立たない場合があります。

5: Eyes: 目は大きく、丸く、開いた表情をしており、目尻は耳の外側の付け根に向かって伸びています。広い目が好まれます。大きな目の表情が、トイボブに特徴的な愛らしい表情を与えています。

理由: 目の大きさの説明を改善し、WCF の目のセットを考慮し、以前の TICA 標準の重要な文言を戻します。他の WCC メンバースタンド（WCF および CFA）との一貫性を保ちます

6: Eye Color: 伝統的な目の色は毛色と関連しています。目の色は他のすべての点と同じ場合にのみ考慮されます。~~尖った部分は青、セピアは金色/緑色、ミンクは青/緑色の目です。~~

理由: 目の色は猫の全体的な構造に比べるとそれほど重要ではないため、不要な言葉は省く。

7: Ears: 耳: 中くらいの高さで、片方の耳の幅ほど離れており、根元が広い。成熟した雄は、両耳の根元がもっと広い場合がある。耳は、長さと同じくらいの高さで、先端が丸く、わずかに前方に傾いている。

理由: jowls が厚い雄猫は、耳の位置を下げる場合があります。

8: Neck: 短くて太く、首がないように見えます。子猫の首は長くなるので考慮する必要がある

理由: 首の説明と（子猫の）成長過程に関する文言を Allowances に改善します。

9: Torso: 短くて四角い体型で、胸はしっかりしています。広い胸郭とやや深い脇腹が、体全体のバランスをしっかりさせています。猫が自然な歩行姿勢をとっているとき、横から見ると背中ほぼまっすぐです。原始的な袋（お腹のたるみ）がよく見られ、コンパクトな体で目立つことがあります。これは肥満の兆候ではありません。

10: Tail: ボブスタイルで、ねじれやカーブがあらゆる組み合わせで見られますが、ほぼ真っ直ぐな場合もあります。尾の最小の長さは少なくとも椎骨 2 個分、最大の長さは飛節までです。骨の長さは尾の長さを測ります。尾はまっすぐにしようとせず、優しく扱わなければなりません。最後の骨を軽く触って、先端が尖っているかどうかを確認します。

理由: 特にロングヘアーの場合、尾の説明と尾の測定方法を改善します。

11: COAT:

TB: コートは中程度に短く、適度にふわふわしており、触るとややパリッとしており、密度が多少あります。毛はむしろ弾力性があり、体に密着していません。毛には発達したアンダーコー

トがあり、トップコートはアンダーコートとほぼ同じ長さです。腹部の毛はより短く柔らかく、背骨部分の毛の質感はやや厚く粗いです。全体的な質感は毛色によって異なります。子猫はやや羊毛のような毛を持つことがあります。

TBL: コートは半長毛から長毛で、短毛種よりも柔らかい。質感はコートの色によって異なる。トップコートはアンダーコートよりわずかに長く、体全体に厚くふわふわした感触がある。コートは肩よりわずかに短く、腹部、襟巻き、ズボンが波打っている場合がある。襟巻きが厚いのが望ましい。尾のコートは豊かで羽毛状である。耳と足の装飾が見える。耳飾りはない。

理由: 特に、さらに発展してきたロングヘアの毛並みの説明を改善します。他の WCC メンバー標準 (CFA) との一貫性を保ちます。

12: GENERAL DESCRIPTION: トイボブは、もともと小さく、尾が短い猫で、主にロシアで作られました。トイボブという名前は、2つの単語に由来しています。「トイ」は遊び好きな小型の猫種を表し、「ボブ」は尾が短いことを意味します。トイボブは、コンパクトで筋肉質の体に、1つまたは複数の曲がった椎骨でできた短い尾を持っています。トイボブの体は、洗練されたり繊細になったりする見た目や感触ではありません。猫の尾が短いのは、この品種に特有のもので、ロシアの在来種の猫に自然発生的に生じたものです。トイボブは気質が穏やかで、愛情深く、人間の仲間にも従順です。体は小さいですが、活発で遊び好きで機敏です。トイボブは1.5歳で完全に成熟しますが、性別によるサイズ差はほとんどなく、成猫になっても理想的には子猫のような外見を維持します

RATIONALE: 不必要な (分裂的な) 言葉遣いを削除します。通常見られるひねりの量の説明を修正し、WCF 標準 (成熟度/異形性) に類似した言葉遣いを追加し、品種の説明を追加します。

13: ALLOWANCES: 子猫の首は長い。成猫のオスには頬骨がある。頬骨の厚いオスは耳の位置が広い。オスはメスより小さい。ボタン、ロケット、および/または小さな白い斑点はすべての色のクラスで見られる (白は考慮されない)。シルバーは変色する。ショートヘアでは毛の密度、長さ、質感の季節的な変化は最小限、トイボブ ロングヘアでは中程度

RATIONALE: 子猫と成猫の雄の特徴を含める。ロシアでは、白がどれだけ少量であっても、白とみなされるため、「白を含む」ことを強調する。色/模様は猫の構造に比べると比較的重要ではない。変色は問題にならない。毛皮の質感の変化は毛皮の説明で取り上げる。季節による毛皮の変化の説明。CFA 標準への一貫性。

14: PENALIZE: TB/TBL: 特大の猫。頭が狭い。目が近すぎる。鼻先が狭い。ストップがはっきりしている。あごが弱い。耳が大きすぎる。成猫では首が長い。骨格が繊細。体が長い。短くて密着した毛皮。トイボブ ロングヘアの耳に房がある。~~尾が飛節より長い。耳が広がっている。耳が大きすぎる~~

RATIONALE: (新しい) 望ましくない特性を含め、体型の文言が WCF に変更され、非標準の尾の長さが DQ に移動されました。

15: WITHHOLD ALL AWARDS (WW): (すべての賞を差し控える・WW) :

交差した小さな目 Crossed **Small** eyes. 尾椎が完全に欠損している 虚弱さ

RATIONALE: 小さな目を追加。尻尾がない状態は DQ に移動し、虚弱さは DQ から移動した

16: DISQUALIFY (DQ):-

斜視。断尾。尾が完全にないか、飛節より長い尾（伸びていない）。眼球が急速に動く。優位眼（DBE）遺伝子：青。尖った白、白一色、バイカラー、白または高白の毛並みの猫以外の猫の青い目の色猫の全体的な体のバランスに対して不釣り合いに短い脚。余分なつま先。野生の祖先の証拠。グリッター。栄養不足。

RATIONALE: 不要な特性/欠陥がいくつか WW から移動されました。野生の雑種/ベンガル/トイガーの特性を含む、(新しい) 不要な特性/欠陥が追加されました。これは世界の他の地域で確立された品種で発生しており、私たちは先手を打っています。また、これはすでに他の標準で DQ になっています。以前の標準にあった DBE の記述を元に戻し、この品種に DBE は望ましくないことを明確にします。Frail は WW に移動されました。Coordinateness は他の標準に移動されました。

● Rules Committee Comments on Toybob Standard Change

この標準変更はトイボブ用です。新種であるため、理事会の承認があれば、これらの変更は直ちに有効になります。ルールの観点から見ると、提案された変更は正しい形式と文言です。委員会は、ルール委員会による最初の提出内容の審査後、変更の文言について Racher Zimmer と前向きな対話を行いました。マークアップされた標準とそれに伴う根拠は、このレポートの別個の付録として提供されます。

Presentation on the

2025 Annual Dresden – Germany

2027 South West Region – Orange County Fair and Event Center.

フォローアップ報告

Legislative Committee 最新情報。常に警戒を怠らず、助けが必要な場合はマーク・フェルベレン（ヨーロッパ北部の立法委員会メンバー）または私に連絡してください。

Barbara Waindle を HHP Breed Committee に任命する。

プレゼン：EverdayCat

猫の健康研究のための猫基金（そして猫だけ）。

2023年/2024年に29の助成金がさまざまなテーマで交付された：CKD、甲状腺機能亢進症、心臓病、ゲノム、栄養学、炎症性腸疾患、猫ウイルス性鼻気管炎、猫肝臓病、がん、慢性歯肉口内炎、避妊・去勢手術のストレスに対するガバペンチンの効果、そしてFIPに関する現在進行中の多くの研究です。これらの研究プロジェクトは世界中で行われている！

寄付は主にアメリカから寄せられている。彼らは研究に投資するために、常にもっと多くの資金を必要としています。ヨーロッパからもっと寄付を集めるにはどうしたらいいか、地域として考えてみるのもいいかもしれない。助成金サイクルは春と秋に開始され、すべての適格な提案を受け付けています。だから、この言葉を広めてほしいです。EverydayCatの活動を世界中に広めるためのボランティア・プログラムが始まりました。活動内容はライティング（ブログの執筆／翻訳、研究結果の説明／翻訳、キャットショーの訪問など）

財務報告

貸借対照表は堅調→懸念なし 予算に対する損益（監査前）

キャッテリー登録、個人登録、ブルースリップ、リッター登録の収入が少なかったため、収入は設定予算を20万2千円下回る結果となりました。

会員登録、血統書、ブリーダーリストの収入は予算を少し上回った。

=> COVIDの時期が終わった後、「普通」がどのようになるのか、私たちはまだ悩んでいます。

経費面では：大きな出費はTOESとTFMSへの投資の減価償却費で、これらの投資が完全に償却されるまで、今後数年間は続くことになる。また、ソフトウェアの強化費も予算を上回った。

投資の未実現利益は予算より多く、そのおかげで昨年度の予算（129,000千円）より少ない損失（25,000千円）で終わることができた。投資 株式から資金を移す（含み益の一部を実現）。

Breed Advancements

Highlander HG/HGS 新猫種のチャンピオンシップへの昇格 - 可決

（備考：この猫種には新しい尾の突然変異があり、近々発表される予定である。）

トイボブ Standard 変更:TB・TBL 可決

実験的・Caracat 実験的から登録(Reg Only)のみへ - 否決

Breed Reports

品種レポート

Toybob: : スタンダード改訂: passed

(ロシアン・ドメスティック・ショートヘア・ロングヘアのロシア語表記を削除)

Wisdom Health Presentation

TICA と Wisdom Health partnership ウィズダムヘルスのパートナーシップ：TICA.org および TFMS を通じて。

TICA の顧客は 15%割引（TICA へのリベートがあるので、TICA にとっても良いことです）。期待される多様性に関するブリーダーツールは本当に見逃されており、それに取り組んでいて、2025 年には再び利用できるようになるはずですよ

COO Presentation

プロジェクト： 中国、新しいウェブサイト（来週公開）

TICA アシスト（テストの最終段階）、

ショーアプリケーション（現在、テスト中に見つかったバグの解決に取り組んでいます（新しいリリースが 30 日以内に公開されることを願っています）、

TOES/TFMS の統合、

自己管理ブリーダーリスト、

ソーシャルメディアの進捗状況、

TICA ペット保険（いくつかの州で公開）、

ウィズダムパネル（来週公開）、AKC リユナイト。

（一般的な愛猫家に焦点を当てています）。

クライアント・コーナーでは、ブリーダー、ジャッジ、出陳者などのためのすべての情報を見つけることができます。

ブリーダー・リスティングのための完全に新しいフォーマット

Wisdom Health 社とのパートナーシップ（Optimal Selection / MyCatDNA）

●8月のTICA Judging Committeeにおいて、以下のjudgesが合格・進級されました。

●**Adolfo Gonzalez Marques** – LH/SH Trainee (Argentina)

●**MiMi Fu** – LH/SH Trainee (USA)

●**Magdalena Marié** – LH/SH Trainee (Poland)

●**Patricia Fraboschi** – Probationary Specialty Judge (Argentina)

●**Agata Kruszona-Zawadzka** – Provisional Allbreed (Poland)

●**Jackie Rose** – Provisional Allbreed (USA)

●**Irene van Belzen** – Approved Allbreed (The Netherlands)

Carlos Lopez TICA Judging Administrator